

**平成27年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 都市活力 部 都市企画 室 文化振興 課

1. 基本情報

1001

施設名	伊丹市立文化会館（いたみホール）		
施設の設置目的	市民の芸術、文化活動を推進し、文化の発展を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数	(単位： 人)
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	220,000	通期の実績値 197,141

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H23	H24	H25	H26	H27(上期)	H27(通期)
	来館者数(人)		229,671	216,460	223,698	202,832	205,135	99,925
貸し室稼働率(%)		47	47	49	49	49	43	46
延べ事業開催回数(回)		35	33	32	33	35	18	33
延べ事業参加者数(人)		21,999	34,299	42,786	39,551	52,534	25,825	51,216

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成27年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	171,073	指定管理委託料	167,138
	事業収入(公演収入等)	35,500	事業収入(公演収入等)	24,133
	利用料金	45,504	利用料金	42,768
	合計	252,077	合計	234,039
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	54,272	人件費	48,940
	維持管理経費	155,638	維持管理経費	148,490
	事業等経費	42,167	事業等経費	32,443
合計	252,077	合計	229,873	
<収支差>		<収支差>		
収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	4,166	

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担)※ <単位:千円>		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入		1,789	1,755	1,662	151	671
(内、使用料収入)		0	0	0	0	0	-
市の支出		156,406	187,886	176,084	258,662	194,083	-
(内、指定管理委託料)		147,432	147,772	154,058	160,212	167,138	-
実質経費(歳出－歳入)		154,617	186,131	174,422	258,511	193,412	-

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果					
		指定管理者自己評価		施設担当課評価			
		評価	特記事項	評価	担当課所見		
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	委託業者の作業及び報告書を確認し、適宜指示を出している。備品台帳を独自に作成し、適切に管理している。修繕は修繕履歴書及び修繕計画書を作成し、内容や方法を工夫しながら実施。節電に努め、エントランスホールの照明は天候や日没にあわせて段階的に点灯。	A	仕様書に基づき、適正に業務が実施されている。また、備品についても適切な管理がなされている。節電等についても社会事情や環境に配慮し、実施されている。	
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B		
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B		
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A		B		
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A		
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	随意契約、緊急時対応の外部研修、ホームドック研修、貸館対応手順や機材の取扱などOJTを日々行い、月1回以上、音響、映像機器等の技術研修、防災研修も実施。	B	外部研修にも積極的に参加する等、運営に直結する技術研修を行い能力向上に努めている。	
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B		
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B		
		防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急連絡網を作成し、年2回消防避難訓練を行っている。	B	仕様書に基づき、適正に実施されている。
			避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	事業実施時に事業並びに施設管理に関するアンケートを行い、運営に反映させている。ホームページの解析を毎月実施。	A	利用者の意見を取り入れながら事業運営を行っているが、アンケートの集約数を増加させる取り組みを考えていただきたい。	
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B		
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B		
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B		
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	施設の設立目的を達成するため、創意工夫を凝らした計画事業と新たな共催公演、ワンコインコンサートを実施。アンケートの満足度も高い。	B	市民や周辺企業等との協働事業を行う等、効果的な事業運営が展開されている。	
		施設の設定目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		B		
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	ホームページ、メールマガジン、FMいたみ、広報伊丹、財団情報紙、新聞、雑誌、懸垂幕、パナール幕等、多様な媒体を活用し情報提供を行っている。	B	様々な媒体を利用して、事業の情報提供や施設の知名度向上に取り組んでいるが、新たな手法を思案していただきたい。	
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B		
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		B		
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	収支計画に基づき、適正な運営及び経理処理を行っている。	B	収支計画に基づき適正に取り組まれている。	
経理処理は、適切に行っているか。		B	B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	利用状況については、概ね近年と同水準で推移している。事業運営では、アンケートの結果を分析し、要望を取り入れた運営を心掛け集約数を増加させる取り組みを考えて頂きたい。今後は開館から17年超を経過し施設、設備の老朽化が進行していることから、その状況を的確に把握した修繕計画を作成し管理運営を行っていく必要があると判断される。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」＝管理運営が優れていると認められる。

「B」＝管理運営が適正であると認められる。

「C」＝管理運営が改善を要する水準である。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成27年4月1日～平成28年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・館内の清掃は行き届き、清潔に保たれていますか。 → 「非常にきれい」43% 「きれい」44%	・今後も美観維持に努める。
回答者数	・職員の接遇態度はいかがですか。 → 「たいへん満足」36% 「満足」41%	・たいへん満足と言っていただけの方を増やす接遇態度を目指す。
3,236	・今回の公演の満足度はいかがですか。 → 「たいへん満足」63% 「満足」23%	・たいへん満足と言っていただけの方を増やす公演を目指す。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
特になし	